

市議会だより

# あくね

## 第4回定例会・議員と語る会

第4回定例会総括……………2

一般質問……………6

議員と語る会……………12



**NO.188**

平成28年2月16日  
編集 / 広報広聴委員会  
発行 / 阿久根市議会  
TEL 0996-72-0815  
FAX 0996-72-2029

昨年11月、全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール鹿児島県大会が開催され、大川中学校が出場しました。規定曲部門では、3年1組チーム名「ウマカTEN」が、自由曲部門では、1年・2年合同「キズナ☆団GO!」がそれぞれ優勝し、12月に開催された全国大会に出場し、健闘いたしました！



阿久根市議会

## 第4回定例会

○平成26年度決算199億8655万円

認定（一般会計及び特別会計の合計）

○火葬場及び市立図書館等を更に5年間、これまでの団体に指定管理者とす

ることを可決

平成27年第4回阿久根市議会定例会を平成27年12月4日から21日までの日程で開きました。

開会初日には、平成26年度の決算の審査について、決算特別委員長から報告があり、全会計について認定しました。

また、条例改正や補正予算など12議案が上程され、2議案を可決し、10議案を常任委員会や予算特別委員会で審査しました。

今回の補正予算については、予算特別委員会の設置を行い、全ての議員（議長を除く）による審査を行うことにしました。

一般質問については、8名の議員から地域戦略、地域コミュニティ、地方創生、政治姿勢、旧国民宿舎、移住・定住などについて質問が行われました。12月11日からは予算特別委員会や常任委員会が開催され、各委員会に付託された案件を審査しま

した。

今回上程された議案では、阿久根市葬祭場「佛石の里」及び市立図書館・郷土資料館を、これまでの指定団体に更に平成33年3月31日までの5年間指定管理者に指定する案件、個人番号に関する条例の制定、市税条例の一部改正などの案件を原案通り可決しました。

補正予算では、民間の保育園の入所増加に対応するため保育所運営費4234万円の増額や農業施設、商工施設の災害復旧費及び市火葬場、市立図書館等の今後5年間の指定管理委託料などを可決しました。

### 平成26年度決算の内容

議会で承認された会計別決算内容は、次の通りです。

- ・一般会計 124億6721万円
- ・国民健康保険特別会計

簡易水道特別会計 37億9529万円

5億1478万円

・交通災害共済特別会計 632万円

・介護保険特別会計 28億9356万円

・後期高齢者医療特別会計 3億948万円

また、これらの会計以外の水道事業会計の収益的収支決算3億5955万円及び資本的収支1億216万円も承認しました。

### 決算の主な事業

#### 【生ごみ堆肥化事業】

平成26年10月から市内6集落を対象に生ごみを収集し、生ごみの堆肥化モデル事業を実施し、堆肥は公共施設や市民に利用されています。

（事業費…1242万円）

#### 【道路維持修繕・改良整備事業】

地域住民からの道路整備の要望は議会にも多く寄せられており、社会資本整備総合交付金事業等の補助事業や市単独事業により解消が図られています。26年度は、26箇所の側溝や道路舗装等の維持修繕工事及び13箇所の改良工事、2箇所のカラー舗装工事などを実施しました。

（事業費…3億6278万円）

#### 【海洋センタープール改修事業】

B&G財団からの助成金を活用して、海洋センタープールを全面改修

し、利用者の安全確保と快適なスポーツ環境が推進されました。

（事業費…5418万円）



改修された海洋センタープール

#### 【障がい者自立支援給付費等事業】

障がい者が在宅での訪問や通所や施設に入所してサービスを受け、日常生活の支援を受けるための事業を行いました。

（事業費…5億1450万円）

#### 【子ども医療費助成事業】

中学校終了までの児童生徒を対象に医療費の助成を行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。

（事業費…4222万円）

#### 【寺山住宅整備事業】

現在の生活スタイルに適合した市営住宅の建設を目指し、寺山住宅4

号棟4階建18戸の建築と6号棟4階建17戸の設計業務を行いました。  
(事業費…1億675万円)



整備が完了した寺山住宅5号棟

## 特別委員会を設置

平成26年度の決算の審査を行うための決算特別委員会（牟田学委員長）と、今議会に提案された補正予算の審査をするための予算特別委員会（中面幸人委員長）を設置し審査を行いました。

また、12月9日の竹原信一議員の一般質問において、不適切な発言があったとして、9名の議員から懲罰の動議が提出され、特別委員会（濱崎國治委員長）を設置して審査を行っています。

## 委員会での主な質疑内容

### ○総務文教委員会

議案第60号、阿久根市火葬場の指定管理者の指定について

阿久根市火葬場の指定管理者として、「有限会社 本石材店」に平成28年4月1日から平成33年3月31日まで指定するものである。

**問** 採点を見たところ、満点が600点に対して、444点と決して高い数値ではないように思えるが。

**答** 指定管理者検討委員会では、一人当たり100点を持ち、各項目ごとに配分をし、平均点を最低ライン60点ということにしている。一人当たり60点を下回った場合、管理者には適さないと、検討委員会は考えており、今回、全て60点を超えていた。所管課 市民環境課

議案第61号、阿久根市立図書館及び阿久根市立郷土資料館の指定について

阿久根市立図書館及び阿久根市立郷土資料館の指定管理者として、特定非営利活動法人「ぷれでお」に平成28年4月1日から平成33年3月31日まで指定するものである。

**問** 採点表のその施設にかかる経費の縮減が図られるかということ

で、「ぷれでお」のほうが全ての委員が同じまたは1ポイント上になるという評価になっている。しかし金額的にはもう一者のほうが安い提案をしているが、検討委員でこのように点数を付けた理由を伺いたい。

**答** 総体の金額としては一者のほうが安くて有利という感じも持ったが、細かに見ると、管理費については「ぷれでお」のほうが安く、もう一者のほうがかなり上回っており、それを補う部分で人件費の部分をもう一者のほうが、かなり落としているところがある。この数値的などところを見ると、人件費を給与月額に引き直した場合に、これで果たして人材確保ができるのかということを危惧したところである。所管課 生涯学習課

### その他の審議事項

- 議案第64号、阿久根市個人番号の利用に関する条例の制定について
- 議案第65号、阿久根市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案66号、阿久根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

### ○産業厚生委員会

今回の定例会では、産業厚生委員

会に付託された議案はなく、所管調査項目である、道路・河川の危険個所の整備について、集落営農を活用した農業振興について所管課を呼び調査を行いました。ほかの調査項目である、地元企業の育成と商店街の活性化について、海を活用した観光行政と宿泊設備の整備についてを含め、今後も調査を行って参ります。

### ○予算特別委員会

議案第67号 平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第4号）

**問** ふるさと納税、あくね応援寄附金の今年の実績が約800件、約1700万とふえた主な理由は。

**答** 返礼品事業を4月から始め、様々な郷土会、50歳組レセプション開催時に案内を配布しており、12月からはふるさと納税の運営サイトであるふるさとチョイスを通じてクレジット決済もできるようにしている。所管課 企画調整課・商工観光課



ふるさとチョイスのサイト  
(<http://www.furusato-tax.jp>)

## 討 論

議案第67号の審査の中で、ふるさと納税に力を入れるため、商工観光課で総括できるような機構改革を要望し賛成する討論があり、挙手採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決された。

**議案第70号** 平成27年度阿久根市交通災害共済特別会計補正予算(第1号)

**問** 交通災害共済見舞金の請求が増えた原因は。

**答** 今年に入って死亡事故3件の事故のうち2件がこの交通災害共済見舞金に該当する案件であり、当初予算に不足を生じたため補正するもの。所管課 総務課

### その他の審議事項

- 議案第68号 平成27年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第69号 平成27年度阿久根市簡易水道特別会計補正予算(第1号)
- 議案第71号 平成27年度阿久根市介護保険特別会計補正予算(第2号)

各議案に対する討論のあった主な内容は以下の通りです。

**認定第1号** 平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について(一般会計) **認定第2号** 平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について(国民健康保険特別会計)

**反対** 竹原 恵美 議員

一般会計で3点の問題点がある。一つ目、行政改革推進委員について。委員会は形式をなぞったもので本来の意義を失っている。二点目、市民交流センター建設は今回、全面見直しとなっているが、誤った執行を続けたもの。三点目、西目地区構造改善センターの太陽光発電施設設置は災害避難時に天候が良いとは言えず機能を発揮しにくい。県の補助金ありきの目標に合わぬ事業だ。国民健康保険について、大川診療所は年間約3800万円かかっているが補助金は約400万円、他は市の負担。1日あたり11人の利用者が必要だがこの2年間は約73人。救急医療施設ではない。約20分で市街地の病院に行ける。3800万円あれば市街地の病院に運ぶなど、他の施策に切り替える時期、または過ぎている。

**結果** 賛成多数で認定

**議案第61号** 阿久根市立図書館及び阿久根市立郷土資料館の指定について

**反対** 竹原 信一 議員

指定管理検討委員会の会議録、採点など検討した。委員は副市長以下すべて職員。施設に関する経費の縮減が図られるかというテーマに対し、片方は2250万余り、片方は2100万で、結果は高い方に点数を高くあげている、あるいは同等。判断の根拠がわからない。他の項目も具体性を欠いている。このような環境から指定管理の相手を決めてるのは、事業者に対して大変失礼ではないか。これでは市民ではなく職員の顔色をうかがうような体制になる。検討委員会のあり方に対し反対する。

**賛成** 濱田 洋一 議員

「ぶれでお」においては長年の経験と培ったノウハウから安定した管理運営を行い、市民サービスにおいても人と人との対話を含め、より一層の利用促進を図りたいとの考え。もう一者は、収支予算書の金額は「ぶれでお」より安かったものの、プレゼンテーション内容や数値的な部分で人材確保や管理運営ができるかと危惧した。検討委員会での総合的な判断と各委員の採点表が、「ぶれで

お」は合格ラインの60点以上をすべてクリア。検討委員会の総論は妥当である。

**反対** 竹原 恵美 議員

「ぶれでお」に対し経費削減のありようをとの質問に、資料を作成し提出すると回答も、資料は出されていない。施設に関わる経費の削減は図られるか、収支計画は妥当か、経費の削減等に工夫はあるかの採点は、「ぶれでお」18点、A社16点。この項目に回答ができていないにも関わらず事業費の高い「ぶれでお」が高い得点。委員会メンバーは副市長、課長。他市は外部委員で構成、または一部構成など。選定過程に大いに疑問がある。

**結果** 賛成多数で可決

**議案第67号** 平成27年度阿久根市一般会計補正予算(第4号)

**反対** 竹原 信一 議員

補正予算書に職員給与の状況がある。この4年間毎年平均およそ4000円ほど上げてきた正規職員給与、ボーナスをさらに上げるといふ。市民の給与状況をわからないと市長は言ったが、求人情報を見れば簡単に推定できる。職員給与とボーナスのアップを続ける、官民格差のさらなる拡大を前提とする議案など許すわけにいかない。

**結果** 賛成多数で可決

## 平成27年第4回定例会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
認定第1号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（一般会計）	認定（多数）
認定第2号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（国民健康保険特別会計）	認定（多数）
認定第3号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（簡易水道特別会計）	認定（全員）
認定第4号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（交通災害共済特別会計）	認定（全員）
認定第5号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（介護保険特別会計）	認定（全員）
認定第6号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（後期高齢者医療特別会計）	認定（全員）
認定第7号	平成26年度阿久根市水道事業会計の決算の認定について	認定（全員）
議案第60号	阿久根市火葬場の指定管理者の指定について	可決（多数）
議案第61号	阿久根市立図書館及び阿久根市立郷土資料館の指定管理者の指定について	可決（多数）
議案第62号	鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合理約の一部変更について	可決（全員）
議案第63号	阿久根市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員）
議案第64号	阿久根市個人番号の利用に関する条例の制定について	可決（全員）
議案第65号	阿久根市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決（全員）
議案第66号	阿久根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員）
議案第67号	平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第4号）	可決（多数）
議案第68号	平成27年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
議案第69号	平成27年度阿久根市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
議案第70号	平成27年度阿久根市交通災害共済特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
議案第71号	平成27年度阿久根市介護保険特別会計補正予算	可決（全員）
議案第72号	阿久根市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員）
	竹原信一議員に対する懲罰の件	継 続 審 査

## 平成27年第4回定例会 議決結果（賛否が分かれた案件のみ）

議 案 名	議員名（議席番号順）														議決結果	討 論		
	白石純一	渡辺久治	濱田洋一	西田数市	竹原信一	仮屋園一徳	竹原恵美	野畑直	中面幸人	大田重男	濱崎國治	牟田学	濱之上大成	山田勝			岩崎健二	木下孝行
平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（一般会計）	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	認定	反対：1 賛成：—
平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（国民健康保険特別会計）	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	認定	
阿久根市火葬場の指定管理者の指定について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：— 賛成：—
阿久根市立図書館及び阿久根市立郷土資料館の指定管理者の指定について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	—	可決	反対：2 賛成：1
平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第4号）	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：—

※木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

（表の見方）◇は賛成、◆は反対

# 一般質問

## — 市政を問う —

平成27年第4回定例会では、8名の議員が一般質問を行いました。

### 【質問者】 (質問順)

- ① 渡辺 久治 議員
- ② 濱田 洋一 議員
- ③ 山田 勝 議員
- ④ 竹原 信一 議員
- ⑤ 仮屋園一徳 議員
- ⑥ 中面 幸人 議員
- ⑦ 白石 純一 議員
- ⑧ 竹原 恵美 議員

掲載内容については、それぞれの議員が行いました一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者が責任をもってまとめたものです。

### 問 西回り開通後のサービスエリア等の設置予定は

答 国の計画はない  
開通後を見据え、  
市内で検討していく

**渡辺** 地域の農業・漁業・畜産業の産物、風光明媚な景観・歴史的資産を観光資源としてアピールするため、北薩地域の西回り道沿線に観光案内所・物産館を併設したサービスエリアを提案する。現在の国の方針はどうなっているか。

**市長** 日奈久から市来まで無料区間となっており国の方針ではS・A・Pの計画はない。設置のためには事業計画の変更・費用対効果の理由づけが必要、ただし地元自治体の全額負担であれば可能であるとのことだ。

**渡辺** 全線開通後、日奈久ICから市来ICまで無料区間となる。熊本方面から鹿児島市内を結ぶ料金は九州自動車道より、普通車で2220円大型車で3680円安くなる。この地域を通過する車は、これまでよりかなり増えることが予想される。立ち寄ってもらう町にするために、この地域の魅力をアピールする拠点づくりを今から始めなければならぬと考えるが、どうか。

**市長** 何よりも無料区間が魅力となり、間違いなく利用者は増えると思う。どういことが出来るか、全線

開通後を見据えたスケジュールが大切になってくる。まずは市内で検討会議を行っていきたいと思う。

**渡辺** この道路は川内原発、事故時の避難道路でもある。電源3法に基づく交付金の額は、阿久根・出水・長島3市町合わせて薩摩川内市の約十分の一である。再稼働に異を唱えなかった自治体として、サービスエリアの建設を自治体の負担なしで国に求めてもいいのではないかと。3市町で協力して取り組みはどうか。

**市長** 現在、3市町で協議会をつくっていて、要望等を行っている。その中でこのような話をしていくのも必要と考える。ただ、各自治体の考え方もあるので、丁寧に進めていく必要がある。



渡辺 久治 議員

## 問 地域コミュニティにおける市職員等の関わりについて

答 地域活動に積極的に関わりを持っていくよう指導育成に努める

**濱田** 市職員のうち市外に居住している職員の人数及び全体職員に占める割合は、どのような状況か。また市外居住の主な理由は何か。

**市長** 平成27年4月1日現在で8人であり、全職員の3.9%に当たる。また、主な理由として結婚を機に配偶者の勤務地を考慮し、通勤可能な地に住所登録を行っている。

**濱田** 今後、採用される職員については、特段の理由がない限り、少なくとも定年までは、阿久根市内に居住するような誓約を付加する考えはないか。

**市長** 今後は、何らかの手立てを考へなければならぬと思っている。阿久根市の職員として採用された以上は、当然、阿久根市民として阿久根市内に永住する意識の醸成を職員には期待している。意識の改革を指導し、職員の育成を図る。

**濱田** 現在、家族や家庭がある中で時間を割いて、一生懸命に地域活性化のため各種行事やイベントに参加している職員には、感謝すると共に、これからも継続して頂きたい。地域コミュニティは、人と人との

つながりであり、可能な限り職員も地域の一員として防犯・防災などの安全対策や地域活動により、最も大切な地域住民との意思疎通が、図られると思っている。

## 地方創生における総合戦略について

**濱田** 総合戦略の素案が示されたが現時点での阿久根市の課題に対する今後の対策は。

**市長** 人口減少の対策として結婚・出産・子育てしやすい環境や結婚への意識向上を促す取組を、また移住定住促進策の推進や第一次産業、商工業等の食の関連産業における就業支援や創業支援等、雇用機会の創出の取組を進める。



濱田 洋一 議員

## 問 阿久根の創生と予算の波及効果について

答 阿久根の食材が阿久根の施設で利用されることも大切と考える

**山田** 一般会計120億、特別会計78億円の予算のうち、民生費で市内の社会福祉施設、介護施設、医療機関に支払われている金額は幾らか。

**市長** 平成26年度決算で社会福祉施設として、障害者支援施設に6億円、養護老人ホームに1億3千万円、保育園に4億9千万円、生活保護医療扶助に1億4千万円、介護施設に12億4千万円、医療機関に12億4千万円を支出している。

**山田** これらの施設で使用されている農水産物、牛肉・豚肉を含む食材を市内の生産者から供給すればその分市民の所得が増え活性化するが取組めないか。

**市長** 阿久根の食材が阿久根の施設で生かされるよう、購入されている施設等の御意見や考え方を伺いし、生産農家等への対応を検討したいと考える。

**山田** 学校給食センターで購入する食材も市外の食材を使用されている施設が市内の生産物を使うという意識を持つことが大事だと思うが。  
**給食センター所長** 学校給食センターで使用されている地元産食材の

利用率は、平成25年度8.5%に比べ平成26年度は15.4%となっている。実えんどうやそば、じゃがいもといった作物は阿久根地区で多く栽培され今後とも地元産食材の導入に努めたいと考えている。

**山田** 学校給食センターをはじめ市内の大きな需要施設は洗わなくても良い無洗米を使用している。この精米機は農協関係のパールライスしか無いと聞くと政治の貧困を感じる。地方創生のため市が購入できないか。

**市長** 冷蔵保管施設が必要であり、かなりの負担を伴うので難しい。  
**山田** 阿久根市創生のひとつとして市職員になるべく市内で買い物や宴会をするようにお願いできないか。

**市長** 利用していると思う。私を含めて利用するようにお願いしている。



山田 勝 議員

## 問 「固定資産税を戻せ」とは 知事の指図か

答 知事からの指示はなかった

職員の昇給をするのか

**竹原** 西平市長は市役所職員のボーナスを平均75万円から2倍の150万円にした。給料は毎年上げてきた。市民の収入は下がっているのではないか。今年も1月1日付けの昇給をするのか。

**市長** 期末手当（ボーナス）の減額は、平成22年に議会の議決を行わない専決処分により行われたものであり、ボーナスを2倍に上げたものではなく議会の承認を得て、元に戻したものである。1月1日の昇給は特段の問題がなければ行う。

固定資産税について

**竹原** 知事から私が市長時代減額を決めた固定資産税を戻さなければ交付金が下がると言われた。私は嘘だと知っていた。西平市長も指図されたのか。

**市長** 専決処分により固定資産税を100分の14から100分の1.2への特例を平成23年第1階臨時会で廃止したが、県内すべての自治体で100分の1.4という標準税率を適用していることなどからも標準税率に戻した。特例税率の適用前であり、実質的に増税



竹原 信一 議員

には当たらないと考える。また、知事からの指示は受けていない。

市は財産管理ができていない

**竹原** 市は財産管理が出来ていないのを知っているか。具体的に答えて欲しい。

**市長** 個別具体の一つ一つに状況ということは、私自身把握するのは難しい。

市民交流センターについて

**竹原** 新しい基本設計書案は中央がトイレの交流センターになっている。この事業に関わる市の技術職員はたった一人、この危険な状況が分かっているのか。

**市長** 仮に不測の事態が起きるのであれば、庁内で検討しながら人員の配置等はなされると考える。

**竹原** 市の対応が遅いと設計業者も言っていた。トイレが中央では災害時において全体に充満する。

## 問 西回り自動車道に道の駅設置を

答 条件をクリアすれば可能である

仮屋園

自動車道の本線内外から入れる道の駅を市内区間に設置できるよう、今から要望すべきではないか。

**市長** 地元が整備費用を全額負担する条件に、構造上の条件をクリアすれば本線直結型のサービスエリアやパーキングエリアを整備することは可能であり、国道事務所としては条件、意見等を出して調整となると聞いている。車道内外から入れる道の駅となると、進入路の新設、設置の場所、予算など課題があるが、本市の高速道路の活用について、構想を立て、早期に取り組み必要がある。

県道脇本赤瀬川線の整備について

**仮屋園** 市の活性化策として、阿久根で最も誇れる海岸線を活用するため、脇本赤瀬川線の整備は必要不可欠と思うが市長の考えは。

**市長** 嶋の浦地区と牟田踏切付近の改良が近く実施予定で、本年度は他に、県道整備事業要望に対し1億200万円の追加予算があり、脇本赤瀬川線も、測量委託や側溝改修工事が実施される。今後も引き続き県に

対し要望を行っていく。



県道脇本赤瀬川線（牟田地区）



仮屋園 一徳 議員

その他の質問  
・地方創生総合戦略について  
・西回りIC周辺の整備計画

## 問 旧国民宿舎あくねは、今後どのような方針か

**答** 市が現施設を解体し、施設建設の事業者を公募する

**中面** 現在運営している事業者との貸付契約が、平成28年3月末日で満了することから、旧国民宿舎施設活用検討会議の答申を踏まえ今年の7月から8月にかけて民間譲渡の公募を行い、市内から一社の応募があったが事業者の決定に至らなかった理由は何か。

**市長** 応募法人の応募内容が、市が定めた公募条件に合致しなかった。

**中面** 公募前に市外の民間事業者から譲渡の話があったと聞くが、その事業者にお願いしてみなかったのか。

**市長** 公募前に市外の一事業者からスポーツイベント等の開催や福祉分野を連携して複合的に施設を活用する構想を示された。公募期間内にご意向をお尋ねしたが、今回は見合わせるということで応募されなかった。

**中面** 今後旧国民宿舎あくねについてどのような方向で進めていくのか。

**市長** 庁内において、今後の方針について協議を行い、「市が現在の施設を解体し、その後民間事業者が新たな施設を建設することとして、事業者を公募すること」を基本に検討を進め、速やかな課題の解決に努め、

施設の運営を目指すこととしている。

公募については、この地域における主な法規制を踏まえて、条件を整理し、その結果を基に、見直し方針に基づいた早期の実施を検討したい。

なお、現在の事業者との契約期間は今年度末で満了となるため、平成28年4月から施設は休館となる見込みであるが、平成28年度中の現在の施設の解体着手を目指し、早期の施設整備により再開が図られるように取組を進めてまいりたい。

**中面** 新たな公募に当たっては、市民が納得するような公正公平な公募条件を示し、市内の宿泊施設と競合しないような形態のすみ分けの考え方も必要であり、今展開中のうみ・まち・にぎわい再生整備基本計画や地方創生事業などに基づき、将来を見据えた検討をお願いしたい。

**市長** 新たな公募に当たっては、市民が納得するような公正公平な公募条件を示し、市内の宿泊施設と競合しないような形態のすみ分けの考え方も必要であり、今展開中のうみ・まち・にぎわい再生整備基本計画や地方創生事業などに基づき、将来を見据えた検討をお願いしたい。



中面 幸人 議員

## 問 あくねハッピーターン計画を

**答** U・Iターンは必ず進めなければならない



白石 純一 議員

**白石** 人口減少を食い止める政策の一つは転入促進だが、転入者がUターンかIターンか、年代別内訳、転入理由、転入後職業を把握しているか。市の転入促進策は。市外の市出身者人口、居住地情報、連絡方法は。

**市長** 転入理由、転入後職業は把握していない。促進策は移住定住促進、定住促進対策木造住宅建築、地域支援合い定住支援の各補助、併用で最高170万円交付可能。市出身者人口数は分からないが、連絡先は一部把握。

**企画調整課長** 転入者がUターンかIターンかは把握できていない。

**白石** 転入者数推移の要因、U・Iターン内訳、転入後職業等のデータがあれば転入対策が取りやすくなる。対象者の動機分析、魅力付けが必要。

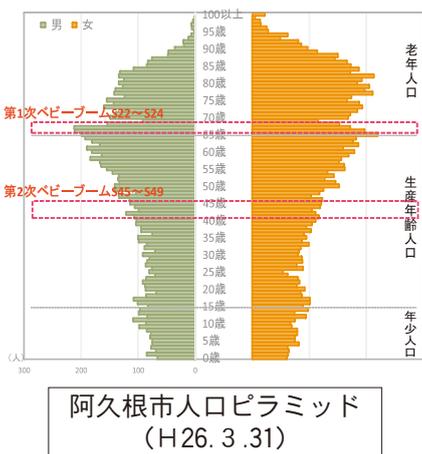
**市長** 転入者へのアンケートなどで情報収集を検討したい。

**白石** 出身者へメール、セミナー等で働きかけ、補助は新増築に加え家賃、空家斡旋、創業補助等も考慮必要。移住促進の専属組織化も。市転出者と配偶者、子、孫を含む数万人数十万人が移住予備軍。孫ターンを市名物に。50歳組は地域資源。市無形文化財としUターン促進に活用を。

**市長** 孫ターン市職員もいる。50歳組の無形文化財等活用検討したい。

**白石** 地方創生の柱で当市を移住先進地とすべく、U・Iターン、孫ターン、盆休暇時のあくね盆ターン等、あくねハッピーターン計画とし市民全国に積極的に呼び掛けられたい。

**市長** U・Iターンは必ず進めなければならない施策である。



## 問 市の組織づくりを どのように考えているか

**答** 職員が事務を正確に迅速に  
そして十分な説明責任を果たすことである

**市長** 市民の皆様が満足していただけるサービスを提供するには職員が事務を正確に迅速に、そして十分な説明責任を果たすことが最も重要だと思っている。より質の高いサービスが提供されることにつながると考え、研修を行っている。

**竹原** 財産は人であることから、組織改革・改善のためにQCサークル（能力の発揮・生きがいのある職場づくり・組織の体質改善と発展の手法）を取り入れることを要望する。

### PDCAサイクルについて

**竹原** 地方創生に関する総合戦略のパブリックコメント中であるが、成果目標の裏付けやコスト意識が必要である。意見募集に目標数はあるか。  
**企画調整課長** 目標数は定めていない。

**竹原** 事業のPDCAサイクルがうまく回っていない。市の事業は複雑多様化し、専門的になり、今までの手法では頭打ちになっていると認識し、専門家の登用が必要ではないか。  
**市長** 市には課題が山積している。国・県との情報共有と人事交流も考

えてやっていけるといい。

### 市民への説明責任について

**竹原** 平成26年12月に市民交流センターの事業費約31億7000万円で事業を進めること、平成27年9月には設計を見直すことなど、市長からの説明を議員控室で議会全員協議会において受けてきた。市民は3か月後の議会において知ることとなったが、このような内容は市民への説明責任として議員と同時期に知らせるべきではないか、行ってほしい。

**市長** 市民に知らせる前に議員の事前の理解や了承が必要だと判断したときに議会の全員協議会で説明を行っている。市民に情報が最初に行くよりも、議員に説明するのが当然だと思っている。



竹原 恵美 議員

## 議会を傍聴しませんか。

市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。  
ぜひ傍聴にお越しください

学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。

- 本会議はだれでも傍聴できます。
- 傍聴の際は、傍聴席入口にある受付簿に住所、氏名を記入してください。
- 傍聴席の場所は議場裏の階段を上がり、4階になります。
- ☆「生中継」もご利用ください。  
本会議開会中は、市のホームページから議会の様子が生中継で見ることができます。
- ☆録画中継も配信中！  
※録画中継についてはホームページのリニューアルに伴い平成26年第4回定例会から配信しています。



## 委員会報告(所管事務調査)

議会の委員会では①議会から付託された事件(議案・請願・陳情)の審査、②所管事務の調査があります。所管事務調査は、所管に関する事項について調査を行い、市への政策提案を行うために閉会中も調査を行っており、その調査内容を本会議で報告を行っております。

### ○総務文教委員会調査事項

総務文教委員会では現在、①教育行政(学校編成)について、②教育行政(不登校問題)について③阿久根市地域防災計画についての3項目について、これまで調査を行っており、昨年11月25日から26日まで、長崎県島原市・佐賀市で視察を行いました。島原市では、地域防災計画に関して、雲仙普賢岳噴火後の地域防災計画、安中地区まちづくり推進協議会の活動概要及び行政の支援状況、安中防災塾の活動内容及び行政支援について話しを聞き、その後、雲仙普賢岳災害記念館を視察しました。佐賀市では不登校に関する教育行政について特定非営利活動法人NPOスチューデント・サポート・フェイス代表理事から法人の概要及び活動内容について話しを聞き、同法人の施設について視察を行いました。



島原市調査(地域防災計画について)



佐賀市調査(不登校問題について)

### ○産業厚生委員会

産業厚生委員会では、現在①地元企業の育成と商店街の活性化について、②海を活用した観光行政と宿泊設備の整備について、③道路・河川等の危険個所の整備について、④集落営農を活用した農業振興についての4項目について調査を行っております。

1月18日、道路河川等の危険個所の整備について県北薩地域振興局建設部土木建設課との意見交換を実施し、地元企業の育成と商店街の活性化について、長島町の株式会社瀬戸産業について視察を行いました。また、集落営農を活用した農業振興について2月1日、瀬之浦水稲農作業受託組合との意見交換を行いました。



瀬戸産業視察(地元企業の育成)



瀬之浦水稲農作業受託組合の研修(集落営農を活用した農業振興)

今後も付託された議案等の審査だけでなく、所管課等との意見交換を行いながら政策提案に努めてまいります。

### 他の常任委員会

- ・ 予算常任委員会  
議長を除く議員15名
- ・ 広報広聴委員会 6名  
委員長 濱崎國治議員  
副委員長 渡辺久治議員

### 特別委員会

特別委員会とは特定の案件に対して調査を行う委員会を設置して調査を行うものでありますが、現在阿久根市議会に設置されています特別委員会は以下のとおりとなります。

- ・ 旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会  
議長を除く議員8名  
委員長 山田 勝議員  
副委員長 濱崎國治議員
- ・ 地方創生に関する調査特別委員会  
議長を除く議員15名  
委員長 岩崎健二議員  
副委員長 白石純一議員
- ・ 市民交流センター等に関する調査特別委員会  
議長を除く議員15名  
委員長 濱崎國治議員  
副委員長 竹原恵美議員
- ・ 懲罰特別委員会 8名  
委員長 濱崎國治議員  
副委員長 西田数市議員

# 議員と語る会 市内12か所で開催

市議会では、市民の皆様には、議会の活動状況等を理解していただくとともに、各地区が抱えている課題等について平成24年から意見交換会を開催し、昨年から「議員と語る会」と名称を変更し開催しております。今回、市民の皆様から寄せられた多くのご質問、ご意見をいただいた中から主な項目について、お知らせいたします。

## 「開催内容」

### 議会からの報告

1. 旧阿久根高校跡地活用について  
経緯と議会の取り組み
2. 市民交流センター等建設計画の  
経緯と議会の対応
3. 地方創生事業の概要と議会の取



1班（大川中学校体育館）

4. り組み  
マイナンバー制度の概要
- 意見交換（テーマ）
  1. 報告に対する意見要望について
  2. 各地域が抱える課題及びその解決策について
  3. 市政・議会に対する意見・要望について



2班（西目地区構造改善センター）

### 開催日・地区・会場

◎10月20日

- ・大川地区28名（大川中学校体育館）
- ・西目地区18名  
（西目地区構造改善センター）
- ・阿久根南地区30名（市民会館）

◎10月21日

- ・阿久根北地区18名（北さつま漁協

ホール）

- ・山下地区14名（遠矢公民館）
- ・尾崎地区22名（尾崎公民館）

◎10月22日

- ・折多地区18名（折多地区集会施設）
- ・脇本地区41名（脇本地区公民館）
- ・隼人地区11名（小漣公民館）

◎10月23日

- ・鶴川内地区18名（鶴川内地区集会施設）
- ・田代地区14名

（山村開発センター）

- ・赤瀬川地区28名

（農村環境改善センター）



3班（農村環境改善センター）

### 団体との意見交換会

団体との意見交換会については2月に阿久根市PTA連絡協議会母親委員会、消防団の皆さんと行う予定となっております。

## 議員と語る会・各種団体との意見交換会を終えて

平成24年3月に議会基本条例を立ち上げ、その中で市民と議会の関係という視点から、議会はその活動に関する情報を市民に対し、説明を十分に果たさなければならず、また、市民の政策的意見を聴く機会を設ける意味で議会報告会を開催しており、今年度も小学校区を基準にし、地区別で12か所260名と意見交換会をおこないました。多くの市民の皆様から、議会、市政に対する「意見・提言・要望」が活発に出され、市民の方々の市政に対する意識の高さを感じ、今後、貴重な意見を市政に反映し、生活・福祉の向上、産業振興、市の活性化につなげてまいります。来年度も議員と語る会・団体との意見交換会をおこなってまいります。更に充実した会となるよう皆様の参加をお待ちいたしております。



班長会 座長  
中面 幸人 議員

## 防災

**問** 総務課から台風や大雨時に各種災害について報告要請があるが、市側も区に対していつ頃どうなるというのを何らかの報告をするべきではないか。

**答** 区長をはじめ、市民の皆様には災害時に迅速な情報提供をいただき感謝します。それらの情報をもとに、工事が必要な場合は所管課から区長へ説明し、理解をいただいているものと思っております。今後も区長とさらに連携を密にし、取り組んでまいりたいと考えております。(総務課)

## 観光

**問** 2020年国体が鹿児島県で開催されるが、市内の宿泊施設は足りるのか。

**答** 旧国民宿舎の新事業者次第ですが、市内だけでは不足すると考えています。民泊も含め、今後検討して参ります。(商工観光課)

## 環境

**問** 生ごみについて、今市内でごみ減量化に取り組まれている。どのような状況になって、また、減量化した数字はどのようになっているのか。

**答** 生ごみ堆肥化モデル事業を実施

したことにより、可燃物の収集量が4月から12月分で対前年比が10%減になっていきます。(市民環境課)



堆肥化センターの状況を調査する総務文教委員会(平成26年10月)

## 道路・河川

**問** 道路の補修、清掃が行き届いてなく、また、やぶのはみ出しで市に依頼しても、完全に撤去されず車が通りづらい。

**答** 道路伐採等が行き届かず、ご迷惑をおかけしております。作業班で一生懸命努力しておりますのでご理解をお願いいたします。なお、車の通行に支障がある雑草はご連絡いただければ対応していきたくと考えております。支障木は、市道敷地の樹木は伐採できますが、個人敷地の樹木については基本的に地権者の所有であり、市として対応が難しいと考えております。また、災害などの風

倒木には、車両の通行に支障がある倒木は個人の了解を得て、処理しますが、電線などへの倒木は市では処理できず、九電・NIT等に対応してもらっております。(都市建設課)

**問** 市道等を整備する場合、側溝の整備をすれば利用しやすいので、側溝を優先して整備して欲しい。

**答** 市道の整備には局部改良工事・舗装工事・ブロック積等路肩の整備工事・側溝整備などがあります。この中でも側溝整備を優先しておりますが緊急性も考慮して整備しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。(都市建設課)

## 医療・福祉

**問** 病児訪問保育について市でも対応できないか。

**答** 病児・病後児保育事業に関しては現在未実施のため、実施に向けて検討をしています。ただし、保護者負担額の設定、保育施設等及び医療機関との連携を図ることも必要であるため、実施に向けては慎重に検討してまいります。(生きがい対策課)

## 公共施設

**問** 市民交流センターの財源内容を市民に教えてほしい。

**答** 市民交流センター部分について

は、建設費のほか、備品購入費、解体工事費、工事監理委託料を含め、20億円の事業としております。内訳は、国庫補助が約6億円、基金が約12億円、市債が約2億円を予定しております。また、国庫補助は、社会资本整備総合交付金と原子力発電施設立地地域基盤整備支援事業交付金を予定しております。(教育総務課)

**問** グランビューは建て替えるのかどうするのか、また、どこがあとを受けるのか市民に全く聞かえてこない。現状をきちんと教えてほしい。

**答** 旧国民宿舎施設(現グランビューあくね)は、建設してから40年以上が経過して、施設内は老朽化し、また耐震補強が必要な状況であります。このことから、市では平成27年7月に民間の事業者へ条件付で無償譲渡することとして公募を行いました。選定までに至りませんでした。今後は、市が現在の施設を解体した後に新たな施設を建設することを条件として民間事業者を公募する予定であります。現在、公募の条件を整理しており、その条件が整い次第、公募を実施する予定です。なお、現在の事業者との契約は平成28年3月31日で満了となることから、平成28年4月からは施設は休館となる。今後、早期に施設の運営が再スタートできるよう取り組んでいきます。(財政課)

## 行政

**問** 区長として地区の活動への市補助金申請を簡素化できないか。手続きが複雑で申請を躊躇する。

**答** 当事業による補助金の交付は、「阿久根市地域づくり活動支援補助金交付要綱」及び阿久根市補助金等交付規則に基づき、公正かつ適切な執行に努めているところであり、市においても、制度の活用や具体的な手続き等について、相談があれば随時対応しているところであり、書類等の作成も、なるべくわかりやすく説明し、作成例を示すなど可能な範囲で支援していますが補助金として適正な執行を行う上で必要な書類等の作成や添付をお願いしているところ。今後も市民の方々の意見や要望を伺いながら、適切な制度の運用を図ってまいります。

(企画調整課)

**問** マイナンバーについて、情報漏えい、プライバシーの侵害の問題は大丈夫か。全て同じ本サバーにつながらず問題ではないか。

**答** 昨年の10月5日以降、マイナンバー業務を取り扱うパソコンからインターネットを分離したため情報漏えいのリスクは大幅に低減されています。また、職員の業務上の個人番号利用に関しては、業務ごとに厳密なアクセス制限を行っており、業務

に関係のない職員は番号を閲覧できないようになっていきます。国の機関との情報連携については、決められた1つのサーバを通して、かつ閉鎖された通信環境でデータのやり取りを行い、通信の際は個人番号を利用せず、別に採番された「符号」というIDを用いて連携を行うようになっていきます。

(総務課)

**問** 旧阿久根高校跡地の活用策について、どのようになっていくのか。

**答** 現在、旧阿久根高校跡地活用検討会議の中で検討を進めているところであり、今後、方向性を含め活用策を探っていきます。(企画調整課)



旧阿久根高校の跡地を視察する議会特別委員会  
(平成27年7月10日)

**問** 投票所の再編計画の説明があり、投票所が遠くなると投票率にも影響が出ると思うがどうなっているのか。

**答** 投票区については、21か所の投票区を設け、選挙を執行しています。が、人口減少も相まって選挙人の数も平成4年時選挙人名簿登録者数の21628人から、現在は18626人と3002人も減少してきているのが現状です。また、投票区の数も数十年間見直しされておらず、数年経てば選挙人の数も100人を切る投票区も予想され、一方、期日前投票制度により期日前の投票者数が年々増加傾向にあり、投票日当日に投票所で投票する選挙人が減少傾向にあります。そこで、『選挙人が概ね300人未満の投票区』、『投票所間の距離が比較的近く有権者から概ね3km以内の投票区』、『投票所となる施設が老朽化及びバリアフリー等でないことにより、選挙人が投票し難い環境である場合の投票区』を基準とし、対象区(田代・倉津・隼人・大漣地区)の区長及び区役員に再編の理由、今後の対応などを説明し、意見交換を行いました。なお、再編に伴う問題として対象となる投票区は高齢者が多く交通弱者も多いことから、田代・隼人・大漣地区については選挙当日マイクロバスを準備し、複数回運行する旨提案したところでありますが、『早急すぎる』、『投票率の低下を招く』との意見等もあり、現在実施の時期については未定となっています。

(選挙事務局)

**問** 安心して産み、安心して子育てができる阿久根にして欲しい。

**答** 現在、当市においては、出生祝い商品券支給事業等の経済的支援や保育施設においては待機児童がなく、安価な保育料で安心して預けられるよう取り組んでいます。しかし、当市には出産できる医療機関がないため、広域的な連携が課題であり、合わせて産後ケア等のさらなる充実を今後も図っていく必要があると考えています。

(企画調整課・生きがい対策課・健康増進課)

## 議会

**問** 議員定数の削減を進めてほしい。

**答** 議会では、平成26年9月に議員定数等に関する調査特別委員会を設置し、協議を行い、27年3月の委員長報告で、現行の16名が妥当とする意見が多数であったとの報告を行いました。議員定数については、今後も継続して議会での議論が必要と考えています。(議会議長)

**問** 議会の傍聴者が少ない。魅力ある議会にして欲しい。

**答** 防災行政無線や市のホームページ等を通じ、議会開催の周知に努めています。ご指摘のとおり傍聴者は少なく、今後、傍聴者をふやすための方策を検討して参ります。(議会議長)

## 県内19市の議員定数及び議員報酬額等の状況（平成26年12月末現在）

市名	人口	定数	報酬			期末手当			加算率
			議長	副議長	議員	支給割合（月数）			
						6月	12月	計	
鹿児島市	608,240	50	790,000	738,000	686,000	140	155	295	20
薩摩川内市	98,014	26	458,000	396,000	370,000	140	170	310	15
鹿屋市	104,960	28	450,000	396,000	370,000	140	170	310	15
奄美市	45,263	24	420,000	349,000	321,000	142.5	147.5	290	15
枕崎市	22,687	16	370,000	292,000	275,000	140	165	305	15
いちき串木野市	29,747	18	380,000	298,300	275,500	140	150	290	15
阿久根市	22,254	16	333,900	261,000	236,700	140	170	310	15
指宿市	43,188	20	388,000	310,000	286,000	140	170	310	15
出水市	54,097	24	409,000	326,000	303,000	140	170	310	15
伊佐市	28,186	18	368,000	283,000	266,000	140	170	310	15
南さつま市	36,703	20	397,000	318,000	295,000	140	170	310	15
霧島市	127,671	26	540,000	432,000	402,000	140	170	310	15
西之表市	16,363	16	354,000	272,000	256,000	160	170	330	15
垂水市	16,398	16	366,000	283,000	261,000	140	155	295	15
日置市	50,440	22	404,000	323,000	299,000	147.5	162.5	310	15
曾於市	38,824	20	397,000	318,000	295,000	155	155	310	15
志布志市	33,096	20	402,800	316,600	294,000	140	155	295	15
南九州市	37,617	22	388,000	310,000	286,000	140	170	310	10
始良市	76,235	24	400,000	310,000	285,000	140	170	310	15

※議員には議員報酬のほか、年2回期末手当が支給されます。（全国市議会議長会資料より）

※阿久根市は、平成25年10月～平成27年3月まで10%減額。

**議員と語る会の参加者の皆様にアンケートのご協力をいただきましたので、その結果を集計しましたのでお知らせします。**

<b>① 性別</b>			<b>④ 報告内容について</b>		
男性	166名	82%	わかりやすかった	93名	46%
女性	37名	18%	ふつう	83名	41%
<b>② 年齢</b>			わかりにくかった	12名	6%
10代	0名	0%	その他	15名	7%
20代	1名	0%	<b>⑤ 開催時間帯（午後7時から）</b>		
30代	4名	2%	今回の開催時間で良い	167名	82%
40代	12名	6%	昼間に開催してほしい	17名	8%
50代	35名	17%	その他	19名	9%
60代	84名	41%	<b>⑥ 傍聴をしたことがありますか</b>		
70代	50名	25%	傍聴したことがある	63名	31%
80歳以上	17名	8%	中継により傍聴したことがある	27名	13%
<b>③ 感想</b>			傍聴したことはない	100名	49%
よかった	88名	43%	その他	13名	6%
ふつう	83名	41%			
よくなかった	13名	6%			
その他	21名	10%			

アンケート（12地区203名） 203名（合計）

# ○議会のうごき

11月 			10月 										
12日	11日	10日	9日	8日	2日	29日	28日	23日	22日	20日	13日	5日	
南九州西回り自動車道建設促進大会	小規模ネットワーク議長会要望活動 (宮崎県知事・議長)	小規模市ネットワーク議長会中央省庁要望活動北薩横断道路整備促進期成会要望活動	県市議会議長会臨時総会 (東京都)	久根川内道路杭打ち式	久根川内道路杭打ち式	北薩横断道路整備促進地方大会	市町村アカデミー議員研修 (千葉県)	地方創生に関する調査特別委員会	市民交流センター等に関する調査特別委員会	議員と語る会(23日まで)	市民交流センター等に関する調査特別委員会	総務文教委員会	小規模ネットワーク議長会要望活動

11月17日	10月26日
佐賀県鹿島市議会新幹線開業後のまちづくりについて	富山県氷見市議会議会運営について 議会基本条例について

## 行政視察の受け入れ

12月 			11月 										
21日	16日	15日	11日	10日	9日	4日	27日	25日	24日	19日	17日	13日	
別委員会	懲罰特別委員会	地方創生に関する調査特別委員会	本会議	産業厚生委員会	議会運営委員会	予算特別・総務文教・産業厚生委員会	全員協議会・一般質問	全員協議会・一般質問	第4回定例会本会議	調査(26日まで) (島原市・佐賀市)	肥薩おれんじ鉄道活性化議員連盟による要望活動	肥薩4市議会研修会	出水地域開発促進協議会

## 大川小学校から社会科見学

11月20日大川小学校の3・4年生の児童5名が社会科見学として市役所を訪問。議場の見学や議会の仕組みについて勉強しました。



議会の仕組みを勉強したよ！

議会事務局では、学校単位での見学・傍聴もお受けいたしております。ご希望がある学校についてはお気軽に議会事務局までご相談ください。

※ 議会だより、議会傍聴に関するお問い合わせは、市議会事務局まで。  
TEL (72) 0815  
FAX (72) 2029

## 編集後記

笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略が策定されました。いよいよ地方創生に阿久根市が動き出す時が来ました。重点目標として第一次産業・商工業の支援、移住定住環境の充実、子育て・教育の支援等目標値が設定されました。それぞれの立場で、出来ることから実践し、お互いが支え合い協働した地域づくりが必要です。地域コミュニティ・人と人とのつながりを大切に、市民の皆様と議員が一緒になってさまざまな事に共通理解をしながら知恵を出し、汗をかきスクラムを組んでいくことにより、「笑顔あふれるまちづくり」が、実現できると日々思うところで

(委員 濱田 洋一)

発行責任者	議長	木下 孝行
副委員長	委員	濱崎 久治
委員	委員	濱田 純一
委員	委員	白田 洋一
委員	委員	濱田 信一
委員	委員	竹原 徳一
委員	委員	飯屋 徳一